



2025年6月20日

各 位

会 社 名 石井食品株式会社  
代表者名 代表取締役社長執行役員 石井 智康  
(コード番号 2894 東証スタンダード)  
問合せ先 執行役員コーポレート部経理グループ  
マネージャー 村上 樹生  
(TEL 047-774-8748)

(訂正・数値データ訂正) 「2025年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」  
及び「2025年3月期通期決算説明資料」の一部訂正について

2025年5月15日に公表いたしました「2025年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」及び「2025年3月期通期決算説明資料」の記載内容に一部訂正すべき事項がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信いたします。

記

1. 訂正の理由及び内容

「2025年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の発表後、当社の連結財務諸表の作成過程において、退職給付に係る負債の計算等に誤りがあることが判明したため、提出済みの決算短信及び決算説明資料を訂正するものであります。

2. 訂正箇所

訂正の箇所には\_\_\_\_を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶことから、「2025年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の訂正事項については、訂正後のみ全文を記載しております。

以 上



## 2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年5月15日

上場取引所 東

上場会社名 石井食品株式会社  
 コード番号 2894 URL <https://www.ishiifood.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 石井 智康  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレート部経理グループマネージャー (氏名) 村上 樹生 TEL 047 (774) 8748  
 定時株主総会開催予定日 2025年6月24日 配当支払開始予定日 2025年6月25日  
 有価証券報告書提出予定日 2025年6月24日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期の連結業績(2024年4月1日~2025年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	10,869	3.6	267	△35.3	309	△32.2	287	△38.9
2024年3月期	10,492	9.9	413	88.4	457	78.4	471	52.6

(注) 包括利益 2025年3月期 505百万円 (△22.5%) 2024年3月期 652百万円 (76.5%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	17.27	—	7.9	3.9	2.5
2024年3月期	28.07	—	15.0	6.2	3.9

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 ー百万円 2024年3月期 ー百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	7,657	3,851	50.3	231.38
2024年3月期	8,095	3,421	42.3	205.18

(参考) 自己資本 2025年3月期 3,851百万円 2024年3月期 3,421百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	117	△665	△97	1,812
2024年3月期	1,247	△611	△122	2,458

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00	66	14.3	2.1
2025年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00	66	23.2	1.8
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	4.00	4.00		44.4	

### 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,200	3.0	150	△44.0	200	△35.5	150	△47.9	9.00

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2025年3月期	18,392,000株	2024年3月期	18,392,000株
2025年3月期	1,745,203株	2024年3月期	1,714,998株
2025年3月期	16,665,438株	2024年3月期	16,800,079株

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年3月期の個別業績（2024年4月1日～2025年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	10,662	3.2	264	△34.7	310	△29.9	288	△36.9
2024年3月期	10,329	9.5	405	73.1	443	76.6	457	46.7

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期	17.33	—
2024年3月期	27.25	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円 銭	%	円 銭	
2025年3月期	7,611	48.8	3,713	48.8	223.07		223.07	
2024年3月期	8,050	43.0	3,462	43.0	207.62		207.62	

(参考) 自己資本 2025年3月期 3,713百万円 2024年3月期 3,462百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来の記述等に関するご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、2025年5月15日にTDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載いたします。

(<https://www.ishiifood.co.jp>)

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	4
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(連結損益計算書) .....	7
(連結包括利益計算書) .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報等の注記) .....	12
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善などにより、景気は緩やかな回復の動きが見られました。しかしながら、資源・エネルギー価格の高騰等にもなう物価高により生活コスト全般が上昇し、これを背景に消費者の節約・低価格志向が継続しており、依然として厳しい事業環境状況が続いております。

このような環境の中、当社では中期経営計画（2022年度-2026年度）において、ISHII VISION2030「農と食卓をつなぎ、子育てを応援する企業に」を掲げ、「子育て」をはじめとする様々なお客様の生活シーンを支え、ライフスタイル変革につながる食サービスの最大化と着実な実行に向けた取り組みを推進しております。

売上高につきましては、主力の食肉加工品において、各地域・各流通ごとに顧客ニーズや食シーンに合わせた営業活動及び販売促進施策を展開するとともに、1974年の販売から50周年を迎える当社主力商品の「イシイのおべんとクン ミートボール」を中心に、キャラクターや著名人とのタイアップ企画を通じて価値訴求を行ってまいりました。この結果、売場を維持・獲得できたことにより、食肉加工品の売上高は増加いたしました。地域商品につきましても、各地域の旬の素材を活かしたハンバーグシリーズを中心に、地域交流イベントをはじめとする行政や生産者と一体となって、より地域に根付いた販売促進活動強化を行った結果、売上高は増加いたしました。一方で、惣菜につきましては、ごぼうサラダの採算性改善のための生産拠点集約による減産に加え、栗が天候不順の影響で不作となり計画通りに調達ができず「炊き込みごはんの素 栗ごはんシリーズ」を減産した結果、売上高は減少いたしました。また、正月料理につきましても、アレルギー配慮おせち・健康に配慮したおせち・1人用おせちなど様々なライフスタイルに対応した正月料理を販売しており、ECサイトを通じたBtoCでの販売は伸ばしたものの、原材料費や人件費の高騰にもなう価格上昇の影響により正月料理全体の売上高は減少いたしました。

売上原価、販売費及び一般管理費につきましては、中期経営計画（2022年度-2026年度）において重点課題として掲げている、持続的な組織力向上を実現するために必要な人員体制の増強や生産設備及びITシステムへの継続的な投資を行っており、人件費及び減価償却費が増加しております。加えて、物価高の影響などにより、エネルギーや運搬費等のコストも全般的に増加しております。

この結果、当連結会計年度における売上高は前年同期比3億77百万円増の108億69百万円となり、売上総利益は前年同期比78百万円増の36億27百万円となりました。

販売費及び一般管理費は、前年同期比2億24百万円増の33億59百万円となり、2億67百万円の営業利益（前年同期比1億45百万円減）となりました。

これに営業外収益61百万円、営業外費用19百万円を加減した結果、3億9百万円の経常利益（前年同期比1億47百万円減）となり、特別利益に補助金収入等77百万円、特別損失に減損損失等25百万円を計上した結果、税金等調整前当期純利益は3億61百万円（前年同期比1億61百万円減）となりました。これに法人税等合計73百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は2億87百万円（前年同期比1億83百万円減）となりました。

製品別及びチャネル別業績の概況は、次のとおりであります。

(単位：千円)

製品別売上高	前連結会計年度 (2023. 4. 1～2024. 3. 31)		当連結会計年度 (2024. 4. 1～2025. 3. 31)		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前年同期比
食肉加工品 (ハンバーグ・ミートボール他)	9,020,628	86.0	9,429,489	86.7	408,861	104.5
惣菜	565,287	5.4	502,159	4.6	△63,128	88.8
地域商品	344,172	3.3	368,798	3.4	24,626	107.2
正月料理	268,147	2.5	253,657	2.3	△14,489	94.6
非常食	198,849	1.9	215,036	2.0	16,187	108.1
配慮食 (食物アレルギー・減塩他)	41,673	0.4	49,544	0.5	7,871	118.9
その他	53,262	0.5	50,969	0.5	△2,293	95.7
合計	10,492,021	100.0	10,869,656	100.0	377,634	103.6

(単位：千円)

チャンネル別売上高	前連結会計年度 (2023. 4. 1～2024. 3. 31)		当連結会計年度 (2024. 4. 1～2025. 3. 31)		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前年 同期比
量販店（スーパーマーケット他）	8,565,171	81.6	8,811,624	81.1	246,453	102.9
質販店（百貨店他）・生協	1,071,796	10.2	1,054,709	9.7	△17,087	98.4
飲食店・宅配・官公庁	477,196	4.6	523,352	4.8	46,156	109.7
直販	377,857	3.6	479,969	4.4	102,112	127.0
合計	10,492,021	100.0	10,869,656	100.0	377,634	103.6

食肉加工品は、各地域・各流通ごとに顧客ニーズや食シーンに合わせた営業活動及び販売促進施策を展開するとともに、1974年の販売から50周年を迎える当社主力商品の「イシイのおべんとクン ミートボール」を中心に、キャラクターや著名人とのタイアップ企画を通じて価値訴求を行ってまいりました。具体的には、「うたのおねえさん 小野あつこさん」を起用した「お料理応援キャンペーン」やこどもちゃれんじの「しまじろう」とコラボした「春のお弁当まつりキャンペーン」等を展開してまいりました。この結果、売場を維持・獲得できたことにより、食肉加工品の売上高は前年同期比で4.5%増加いたしました。なお、原材料費やエネルギーコストの上昇等を鑑みて、2025年3月に一部商品の価格改定を行っております。

惣菜は、ごぼうサラダの採算性改善のための生産拠点集約による減産に加え、粟が天候不順の影響で不作となり計画通りに調達ができず「炊き込みごはんの素 栗ごはんシリーズ」を減産した結果、売上高は前年同期比で11.2%減少いたしました。一方で、「イシイの佃にぎり」シリーズは、常温保存かつ賞味期限は製造日から100日という特徴からオフィスコンビニ等に導入が進み、順調に伸長しております。

正月料理は、大勢で楽しめる3段重タイプのおせち「慶春譜」「祝春華」、アレルギー配慮おせち「のぞみ」「かなえ」、食塩不使用の「ちづる」、減塩の1人用おせち「つばさ」、1人用おせち「迎春小箱」など様々なライフスタイルに対応した正月料理を販売しており、ECサイトを通じたBtoCでの販売は伸長したものの、原材料費や人件費の高騰にともなう価格上昇の影響により正月料理全体の売上高は前年同期比で5.4%減少いたしました。

地域商品は、各地域のステークホルダーと連携して旬の食材を生かした商品作りと地域に根付いた販売促進活動を継続しており、売上高は前年同期比で7.2%増加いたしました。直近におきましては、滋賀県東近江市のキャベツを使い、「近江ちゃんぼん亭」と共同開発で滋賀県民のソウルフードである近江ちゃんぼんをソースで再現した「滋賀東近江市のキャベツを使ったハンバーグ近江ちゃんぼん風」を発売し好評を得ました。

非常食は、地震災害等の発生により消費者の防災意識が高まり、非常食へのニーズが高まっております。このような中、当社の非常食セットの販売は堅調に推移するとともに、2024年2月に発売いたしました「いつでもミートボール」「いつでも1.5倍チキンハンバーグ」は、常温保存かつ賞味期限は製造日から1年のため、ローリングストックとしての常備食やアウトドアなど幅広い用途で利用できることから、順調に販売を伸ばしております。

## (2) 当期の財政状態の概況

### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末の45億1百万円に対し、6億38百万円減の38億62百万円（前年同期比14.2%減）となりました。主な要因は、現金及び預金の減少、売掛金の減少、商品及び製品の増加、原材料及び貯蔵品の増加であります。

固定資産は、前連結会計年度末の35億94百万円に対し、2億0百万円増の37億94百万円（前年同期比5.6%増）となりました。主な要因は、機械装置及び運搬具の増加、無形固定資産の増加、投資有価証券の増加であります。

この結果、総資産は前連結会計年度末の80億95百万円に対し、4億38百万円減の76億57百万円（前年同期比5.4%減）となりました。

### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末の40億2百万円に対し、8億11百万円減の31億91百万円（前年同期比20.3%減）となりました。主な要因は、買掛金の減少、未払費用の減少であります。

固定負債は、前連結会計年度末の6億71百万円に対し、56百万円減の6億14百万円（前年同期比8.5%減）となりました。主な要因は、退職給付に係る負債の減少、リース債務の増加であります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末の46億73百万円に対し、8億68百万円減の38億5百万円（前年同期比18.6%減）となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末の34億21百万円に対し、4億29百万円増の38億51百万円（前年同期比12.6%増）となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する当期純利益の計上、配当金の支払、その他有価証券評価差額金の増加、退職給付に係る調整累計額の増加であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ6億45百万円減少し、18億12百万円（前年同期比26.3%減）となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の営業活動により増加した資金は1億17百万円（前年同期は12億47百万円の増加）となりました。主な要因は、税金等調整前当期純利益の計上、減価償却費の計上、仕入債務の減少、棚卸資産の増加であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の投資活動により減少した資金は6億65百万円（前年同期は6億11百万円の減少）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出、無形固定資産の取得による支出であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の財務活動により減少した資金は97百万円（前年同期は1億22百万円の減少）となりました。主な要因は、リース債務の返済による支出、自己株式の取得による支出、配当金の支払額であります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、物価上昇が続く中、金融・為替市場の変動や不安定な国際情勢により、今後の経済状況は不透明であり予断を許さない経営環境となっております。

売上高につきましては、2025年3月に実施いたしました値上げの効果を最大限に出すべく、各地域・各流通ごとに、顧客ニーズや食シーンに合わせた営業活動を続けていくとともに、商品価値を伝えるキャンペーンを行うことで、売上高112億0百万円を見込んでおります。

コスト面につきましては、将来の成長に向けた生産設備投資や新規事業への投資を続けており、減価償却費等が増加することに加え、原材料費及びエネルギーコストはさらなる高騰が見込まれており、製造コストは増加する見込みです。

以上を踏まえ、2026年3月期は営業利益1億50百万円、経常利益2億0百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1億50百万円を予想しております。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想等に著しい変動が生じた場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

### 3. 連結財務諸表及び主な注記

#### (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,458,313	1,912,391
売掛金	1,723,510	1,464,537
商品及び製品	68,029	142,941
仕掛品	9,922	5,404
原材料及び貯蔵品	180,759	216,275
その他	60,889	120,943
流動資産合計	4,501,425	3,862,495
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,768,171	8,836,557
減価償却累計額	△8,311,050	△8,318,386
建物及び構築物（純額）	457,120	518,171
機械装置及び運搬具	6,886,663	6,999,375
減価償却累計額	△6,091,467	△6,105,668
機械装置及び運搬具（純額）	795,196	893,707
工具、器具及び備品	430,263	437,192
減価償却累計額	△388,299	△401,210
工具、器具及び備品（純額）	41,963	35,982
土地	809,029	809,029
リース資産	161,973	217,124
減価償却累計額	△121,108	△132,784
リース資産（純額）	40,864	84,339
建設仮勘定	34,394	64,999
有形固定資産合計	2,178,570	2,406,229
無形固定資産	451,497	476,370
投資その他の資産		
投資有価証券	706,447	777,918
繰延税金資産	21,951	—
その他	280,833	179,190
貸倒引当金	△45,200	△45,200
投資その他の資産合計	964,033	911,909
固定資産合計	3,594,100	3,794,509
資産合計	8,095,525	7,657,004

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	630,134	313,926
短期借入金	1,900,000	1,900,000
リース債務	12,130	20,565
未払費用	1,006,078	649,703
未払法人税等	69,261	27,703
未払消費税等	14,670	58,444
賞与引当金	105,963	93,191
その他	264,413	127,512
流動負債合計	4,002,653	3,191,047
固定負債		
リース債務	34,353	72,941
退職給付に係る負債	613,858	495,736
資産除去債務	22,715	22,740
繰延税金負債	—	22,871
その他	107	—
固定負債合計	671,034	614,289
負債合計	4,673,688	3,805,336
純資産の部		
株主資本		
資本金	919,600	919,600
資本剰余金	672,801	672,801
利益剰余金	2,034,140	2,255,314
自己株式	△367,007	△376,102
株主資本合計	3,259,535	3,471,613
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	226,868	264,812
退職給付に係る調整累計額	△64,566	115,242
その他の包括利益累計額合計	162,302	380,054
純資産合計	3,421,837	3,851,667
負債純資産合計	8,095,525	7,657,004

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年 4月 1日 至 2024年 3月 31日)	当連結会計年度 (自 2024年 4月 1日 至 2025年 3月 31日)
売上高	10,492,021	10,869,656
売上原価	6,943,084	7,242,019
売上総利益	3,548,936	3,627,636
販売費及び一般管理費	3,135,338	3,359,878
営業利益	413,598	267,758
営業外収益		
受取利息	265	570
受取配当金	16,182	20,493
廃油売却益	32,376	24,573
助成金収入	671	2,230
その他	15,946	13,970
営業外収益合計	65,442	61,838
営業外費用		
支払利息	8,256	14,205
棚卸資産廃棄損	12,622	5,481
その他	967	72
営業外費用合計	21,846	19,758
経常利益	457,194	309,838
特別利益		
固定資産売却益	—	23,036
補助金収入	100,487	50,000
受取保険金	11,324	—
受取和解金	—	4,230
特別利益合計	111,811	77,266
特別損失		
固定資産処分損	7,111	2,374
減損損失	39,100	23,428
特別損失合計	46,212	25,802
税金等調整前当期純利益	522,793	361,302
法人税、住民税及び事業税	83,353	50,172
法人税等調整額	△32,071	23,248
法人税等合計	51,281	73,421
当期純利益	471,511	287,881
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	471,511	287,881

## (連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年 4月 1日 至 2024年 3月 31日)	当連結会計年度 (自 2024年 4月 1日 至 2025年 3月 31日)
当期純利益	471,511	287,881
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	136,804	37,943
退職給付に係る調整額	43,964	179,808
その他の包括利益合計	180,769	<u>217,751</u>
包括利益	652,280	<u>505,633</u>
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	652,280	505,633
非支配株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	919,600	672,801	1,613,259	△310,806	2,894,854
当期変動額					
剰余金の配当			△50,631		△50,631
親会社株主に帰属する 当期純利益			471,511		471,511
自己株式の取得				△56,200	△56,200
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	420,880	△56,200	364,680
当期末残高	919,600	672,801	2,034,140	△367,007	3,259,535

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	90,063	△108,530	△18,466	2,876,388
当期変動額				
剰余金の配当				△50,631
親会社株主に帰属する 当期純利益				471,511
自己株式の取得				△56,200
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	136,804	43,964	180,769	180,769
当期変動額合計	136,804	43,964	180,769	545,449
当期末残高	226,868	△64,566	162,302	3,421,837

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	919,600	672,801	2,034,140	△367,007	3,259,535
当期変動額					
剰余金の配当			△66,708		△66,708
親会社株主に帰属する 当期純利益			287,881		287,881
自己株式の取得				△9,095	△9,095
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	221,173	△9,095	212,078
当期末残高	919,600	672,801	2,255,314	△376,102	3,471,613

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	226,868	△64,566	162,302	3,421,837
当期変動額				
剰余金の配当				△66,708
親会社株主に帰属する 当期純利益				287,881
自己株式の取得				△9,095
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	37,943	179,808	217,751	217,751
当期変動額合計	37,943	179,808	217,751	429,830
当期末残高	264,812	115,242	380,054	3,851,667

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年 4月 1日 至 2024年 3月 31日)	当連結会計年度 (自 2024年 4月 1日 至 2025年 3月 31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	522,793	361,302
減価償却費	262,104	389,356
賞与引当金の増減額 (△は減少)	24,085	△12,772
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	54,775	61,686
受取利息及び受取配当金	△16,448	△21,064
支払利息	8,256	14,205
助成金収入	△671	△2,230
補助金収入	△100,487	△50,000
受取保険金	△11,324	—
受取和解金	—	△4,230
固定資産売却損益 (△は益)	—	△23,036
固定資産処分損益 (△は益)	7,111	2,374
減損損失	39,100	23,428
売上債権の増減額 (△は増加)	△309,149	258,972
棚卸資産の増減額 (△は増加)	23,733	△105,911
仕入債務の増減額 (△は減少)	304,843	△316,208
未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少)	1,363	△2,636
未払又は未収消費税等の増減額	△9,918	43,773
その他	399,154	△416,283
小計	1,199,324	200,726
利息及び配当金の受取額	15,300	17,794
利息の支払額	△8,256	△14,205
助成金の受取額	671	2,230
補助金の受取額	100,487	—
保険金の受取額	35,660	—
和解金の受取額	—	4,230
法人税等の支払額	△95,485	△93,208
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,247,702	117,567
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△1,992	△11,953
有形固定資産の売却による収入	—	23,036
有形固定資産の取得による支出	△519,305	△575,211
無形固定資産の取得による支出	△89,833	△103,049
その他	△298	1,338
投資活動によるキャッシュ・フロー	△611,430	△665,839
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	1,900,000	1,900,000
短期借入金の返済による支出	△1,900,000	△1,900,000
リース債務の返済による支出	△15,637	△21,848
自己株式の取得による支出	△56,200	△9,095
配当金の支払額	△50,631	△66,708
財務活動によるキャッシュ・フロー	△122,468	△97,651
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	513,803	△645,922
現金及び現金同等物の期首残高	1,944,510	2,458,313
現金及び現金同等物の期末残高	2,458,313	1,812,391

- (5) 連結財務諸表に関する注記事項  
 (継続企業の前提に関する注記)  
 該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、食品事業の単一セグメントであるため記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	205.18円	231.38円
1株当たり当期純利益	28.07円	17.27円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	471,511	287,881
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益 (千円)	471,511	287,881
普通株式の期中平均株式数 (株)	16,800,079	16,665,438

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
純資産額の部の合計額 (千円)	3,421,837	3,851,667
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額 (千円)	3,421,837	3,851,667
1株当たり純資産額の算定に用いられた 普通株式の数 (株)	16,677,002	16,646,797

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(訂正前)

2025年3月期-財務状況				
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 純資産は約1.6億円増加。自己資本比率は+4.5ptで46.8%。</li> <li>● 営業CFは前期から大きく減少も、2024年3月期末の曜日回りの影響であり、これを除くと同水準のCFは確保。</li> <li>● 投資CFは主に固定資産(機械装置及びソフトウェア)の取得による支出で、継続して投資を実施。</li> </ul>				
		(単位:百万円)		
	24/3期	25/3期	前差	
資産合計	8,095	7,657	△438	
負債合計	4,673	4,076	△597	
純資産合計	3,421	3,580	+159	
流動比率	112.5%	121.0%	+8.6%	
自己資本比率	42.3%	46.8%	+4.5%	
現預金等	2,458	1,912	△545	
営業CF	1,247	117	△1,130	
投資CF	△611	△665	△54	
財務CF	△122	△97	+24	
<small>※2024年3月期営業CFは当期純利益及び減価償却費の増加のほか、期末の曜日回りの影響もあり大幅に増加。 (曜日回りの影響を除いた営業CFは約4億円と推定)</small>				

6

(訂正後)

2025年3月期-財務状況				
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 純資産は約4.3億円増加。自己資本比率は+8.0ptで50.3%。</li> <li>● 営業CFは前期から大きく減少も、2024年3月期末の曜日回りの影響であり、これを除くと同水準のCFは確保。</li> <li>● 投資CFは主に固定資産(機械装置及びソフトウェア)の取得による支出で、継続して投資を実施。</li> </ul>				
		(単位:百万円)		
	24/3期	25/3期	前差	
資産合計	8,095	7,657	△438	
負債合計	4,673	3,805	△868	
純資産合計	3,421	3,851	+429	
流動比率	112.5%	121.0%	+8.6%	
自己資本比率	42.3%	50.3%	+8.0%	
現預金等	2,458	1,912	△545	
営業CF	1,247	117	△1,130	
投資CF	△611	△665	△54	
財務CF	△122	△97	+24	
<small>※2024年3月期営業CFは当期純利益及び減価償却費の増加のほか、期末の曜日回りの影響もあり大幅に増加。 (曜日回りの影響を除いた営業CFは約4億円と推定)</small>				

6